

山形県公立大学法人評価委員会意見交換会議事要旨

- 日 時 令和元年7月31日（水）午後1時30分から午後3時55分まで
- 場 所 山形県建設会館3階 中会議室
- 出席者 <委員>
阿部委員長、中條委員、佐藤委員、矢口委員
< 県 >
三浦総務部長、泉健康福祉部次長、菅原学事文書課長、富樫健康福祉企画課長 ほか
<山形県公立大学法人>
鈴木理事長、嶋貴理事、大和田理事、菌部理事、高橋理事、松井理事 ほか
<公立大学法人山形県立保健医療大学>
前田理事長、伊藤理事、藤井理事 ほか

○ 議 題

- (1) 平成30年度業務の実績についての評価について
- (2) 中期目標期間終了時見込み業務の実績についての評価について

○ 審議経過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 協議

(1) 平成30年度業務の実績についての評価について

① 山形県公立大学法人

山形県立公立大学法人より平成30年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに意見交換を行った。業務実績評価書の内容については委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聴いた上で、最終的な評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2 の1	山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第2 の2	山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な意見>

【学生支援の充実について（栄養大）】

- 2年連続の就職率 100%達成はまさにきめ細やかな対応や取組の成果とを感じる。例えば、離職者を把握することなどにより、今後の課題の抽出や支援につながることもあると思う。

（矢口委員）

- 管理栄養士の就職先といえば、病院等のイメージが強いが、食品会社などにも就職しているようだ。

（中條委員）

- ⇒ 食品会社では研究開発や商品開発に従事するなど、管理栄養士として活躍できる職場に就職した者もあり、大半は資格を活かせる職に就いている。（大和田理事）

【高等学校との連携について（栄養大）】

- 模擬授業や出前授業などを通じて、大学側から各高校に積極的に働き掛けていただいていることはありがたい。そう思うと同時に、大学の先生方の本来の業務である研究や学生への指導に注ぐ時間が削られてしまうのではないかと心配している。（佐藤委員）

- ⇒ 両大学（栄養大、米短大）ともに、教育・研究・地域貢献・学内運営の4つの仕事をバランスよく行うこととしている。高校からのニーズに対しては、大学の情報発信ということで、出来る範囲で対応していきたい。

（鈴木理事長）

- ホームページで出前講座の内容を拝見したところ、とても充実したメニューだと感じた。

（矢口委員）

【学生の確保について（米短大）】

- ダイレクトメールの発送数が、昨年度より 350 通増加し、入試広報活動が強化されていると感じた。（矢口委員）

【学生支援の充実について（米短大）】

- 大学法人において、通学の環境整備にきめ細かく努力されていることを知り、学生に対する面倒見の良さに感心した。通学環境はとても重要な課題なので、細かく配慮していることは、生徒を送り出す高校にとっても、非常にありがたい。（佐藤委員）

- ⇒ 学寮と大学を結ぶバスのダイヤなどについて意見を聞きながら、より学生が使いやすいようにしていきたい。（嶋貫理事）

【安全管理に関する目標を達成するための措置について】

- 代表メールアドレスの不正利用について、判明後の指示・対応は速やかであったと思う。現代社会ではこうした事案が発生しうるので、今後も適切な対応を講じられたい。（矢口委員）

② 公立大学法人山形県立保健医療大学

公立大学法人山形県立保健医療大学より平成30年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに意見交換を行った。業務実績評価書の内容については委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聴いた上で、最終的な評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な意見>

【高等学校との連携について】

- 看護師等の専門職を目指す高校生にとって、保健医療大学は憧れの大学となっている。引き続き、保健医療大学における学びの魅力を伝える働きかけを継続していただきたい。(佐藤委員)
- 看護師体験セミナーについては、看護師を目指す高校生にとって、非常に貴重な体験を得る機会となっている。生徒たちが看護師を目指す意欲を確認する機会として、ぜひ継続・拡充をお願いしたい。(佐藤委員、矢口委員)
- ⇒ 看護師不足の解消に向け、できるだけ多くの高校生に看護師を目指してもらうために、看護師体験セミナーの収容人数を拡大するとともに、無料の送迎バスを運行し、交通の便の改善を図った。今後、更にこのような機会を増やし、医療職種を目指している方や本学を希望している方への認知度を高めていきたい。(前田理事長)

【安全管理に関する目標を達成するための措置について】

- 麻しんや風しんなどの自身の予防接種歴について、全く認識がない学生が多くみられる。保健医療大学では、学生全員のワクチンの接種歴を入学時に確認するなど、学生の健康管理が徹底されている。(中條委員)
- ⇒ 医療系の大学として、入学時に学生全員のワクチンの接種歴をチェックすることとしており、それに基づいてワクチンの接種を勧奨している。こういったことには、神経質なくらいに徹底していきたい。(前田理事長)

(2) 中期目標期間終了時見込み業務の実績についての評価について

① 山形県公立大学法人

山形県公立大学法人より中期目標期間終了時見込み業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに意見交換を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聴いた上で、最終的に評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2 の1	山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標	4
第2 の2	山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標	4
第4	財務内容の改善に関する目標	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標	4
第6	その他業務運営に関する目標	4

<主な意見>

【学生支援の充実について（栄養大）】

- 行政職として就職した場合、大学でのキャリアが活かされることはなかなか難しいと思うので、人事異動で学んだことを活かせる職場に異動した時は、実力を発揮していただきたい。(中條委員)
- 色々な現場の現実を聞く機会は大切だと思うので、「卒業生の話聞く会」はぜひ続けて欲しい。就職して数年経つと学生に話すことができる内容も変わるので、今後の学生の活躍につなげてもらえるといい。(矢口委員)

【学生支援の充実について（米短大）】

- 進学に関して様々な事情を抱えている高校生は多く、編入学の可能性が開かれていることは大きな希望となる。また、本当に勉強したいことや将来なりたいものがあるのに、通学の面で大きな制約があるのが実態であることを踏まえると、県内に自宅から通える大学があるというのは非常に大きなメリットだと思う。(佐藤委員)

② 公立大学法人山形県立保健医療大学

公立大学法人山形県立保健医療大学より中期目標期間終了時見込み業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに意見交換を行った。業務実績評価書の内容については委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聴いた上で、最終的な評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標	4
第4	財務内容の改善に関する目標	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標	4
第6	その他業務運営に関する目標	4

<主な意見>

【教育環境について】

- 病院や施設の医療従事者は、日々進歩する医学・医療の仕事をしている。附属図書館については、既に広く開放されているとのことで安心した。山形県全体のレベルアップにつなげるため、今後も専門職や医療従事職の方の利用が拡大するようお願いしたい。(佐藤委員)
- ⇒ 附属図書館の利用については、ご指摘いただいた専門職の方や医療従事者の方の更なる利用拡大を図るとともに、他公立大学や山形大学と連携し、電子図書の利用方法についても周知していきたい。(前田理事長)

5 閉会